

吉井地区自治協議会



吉井地区はうきは市の北西部に位置し、人口 3958 人、1787 世帯、22 の行政区(自治会)で構成されている地域です。

吉井小学校前の南新川や巨瀬川の高橋、河童橋に鯉のぼりを飾る鯉のぼり飾り付け事業、高齢者へのタクシー補助を行う移動支援事業、校区秋まつり事業、健康麻将教室(うきは元気に運営を委託)など住民の皆さんと協働して、より住みやすい吉井地区となるよう活動を行っています。

観光スポット等

●白壁の町並み ●吉井のソーメン ●鯉のぼり飾り付け

巨瀬川をはじめとする校区を流れる川が氾濫しないように河川の整備を要望し、住民が安心して暮らせ、コミュニティの結びつきが強くなることを願っています。



写真右:会長 樋口幸代、写真左:事務局長 古賀貢

福富地区自治協議会



福富地区はうきは市の西部に位置し、人口 3781 人、1534 世帯、15 の行政区(自治会)で構成されている地域です。校区にある珍敷塚古墳は、壁に描かれた壁画に特徴があり、国の指定史跡です。耳納山麓とそこから広がる田園地帯で、柿を中心とする果樹園芸が盛んな、水と緑に恵まれた自然豊かな地域です。

令和元年から高齢者の介護予防・健康増進のため、福富健康サークル「ほっこり」を毎週水・木曜日に開催しています。また、令和4年度から福富学童保育所の運営も行っています。

観光スポット等

●屋形古墳群 ●ハゼ並木 ●吉井百年公園

古くから、甘柿の生産が盛んで特に、柿の王様である富有柿が特産品として全国に出荷されており、地区内には農産物直売所である耳納の里があり、多くの買い物客で賑わっています。また、古墳や延寿寺曾根のハゼ並木、桜の名所の吉井百年公園などがあり、自然と歴史文化を体験することができます。



写真右:会長 熊谷幸一、写真左:事務局長 内藤一成

江南地区自治協議会



江南地区はうきは市の北西部に位置し、人口 2872 人、1183 世帯、19 の行政区(自治会)で構成されている、水田が広がる農村地域です。

江南地区には 5 人の庄屋のお話があり、江戸時代初期に筑後川流域の干ばつに苦しむ農民を救うため、地区内の 5 人の庄屋が中心となり灌漑用水「大石長野水道」を構築し、農民の協力を得ながら完遂しました。その偉業は、毎年 5 月に開催される「五庄屋追遠会」で受け継がれ、住民の誇りとなっています。

また、地域全体で福祉活動への意識が高く、昭和 41 年に江南福祉会を設立、江南福祉会館を建設し、地域の福祉活動の拠り所としてきました。現在の活動の中でも多くの住民の参加・協力が得られています。

区長会をはじめとする各部会が様々な活動をしています。現在の課題は活動の活性化だと考えています。また、新たな試みとして、防災士を登録し自主防災組織のリーダーとして地区の防災力を高める活動を進めていきたいと考えています。地域の現状にアンテナを立てマンネリ化せず柔軟に変えていくことで活性化を図っていくことが大事だと思います。



写真右:会長 末金良幸、写真左:事務局長 石井卓哉

大石地区自治協議会



大石地区はうきは市の北部に位置し、人口 2485 人、1035 世帯の地域で、北側に自然環境豊かな筑後川と歴史ある雄大な大石堰があります。また、杷木インターに近く、筑後大石駅もあり、交通に便利な地区です。筑後川沿いには、泉質で評判の筑後川温泉があり、また大石分水路では、毎年駅伝や凧上げ大会等で賑わっています。また、工業団地として日本精工株式会社や株式会社テクノ月星があり、多くの勤労者が集まっています。

観光スポット等

●筑後川温泉 ●筑後川と周回散策路 ●大石分水路 ●大石堰

世代・地域を超えて筑後川や大石分水路、温泉地等を活用した賑わうまちづくりと人と人とのつながりを大切にしたい安全安心なまちづくりを目指していきます。



写真右:会長 石井準一郎、写真左:事務局長 上田喜洋

御幸地区自治協議会



御幸地区はうきは市の中心部に位置し、人口 6480 人、2605 世帯の地域で、耳納連山の麓にあり、また、巨瀬川、隈上川の清流に囲まれたところです。

パワースポットとして知られている「浮羽稲荷神社」があり、その神社から見下ろす光景は素晴らしいもので多くの方が参拝に来られます。

春には巨瀬川沿いに、数多くの桜が咲き誇ります。約2キロメートルに渡る桜並木は毎年多くの方で賑わいます。

観光スポット等

●浮羽稲荷神社 ●流川桜並木 ●塚花塚古墳、楠名・重定古墳

高齢者の健康増進、介護予防のためのサロンや地域住民の語らい、癒しの場みゆきカフェの開催、また、各種わんぱく教室による青少年の健全育成を実施し、御幸地区のために頑張っています。



写真右:会長 物部義則、写真左:事務局長 佐藤祐子

千年地区自治協議会



千年地区はうきは市の北部に位置し、人口 4600 人で 1925 世帯の地域で、水田農業(水稻・麦・大豆)と施設園芸のトマトや苺の栽培が行われ、文化遺産の古墳群や五庄屋を祀った長野水神社があります。

令和 5 年から通所型サービス B 事業(集いの場)の「すこやか千年」を毎週火曜日に開催しています。10 月には「福祉コスモス祭り」を行い、75 歳以上の高齢者を招待したイベントを開催しています。この他、千年小学校 4 年生以上の希望者を募り、20 名程度の児童で、生活体験の通学合宿も行っています。

観光スポット等

●若宮古墳群 ●長野水神社 ●国道 210 号バイパス線沿いコスモス

子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域を目標に、校区の人々が気軽に集い楽しく行事に参加して、人と人との支えあい、みんなが幸せになるようなコミュニティを目指しています。



写真左:会長 川原文次、写真右:事務局長 重富孝治